

「確かな学力」を身に付けた生徒の育成 ～実感を伴う「わかる授業」の確立を通して～

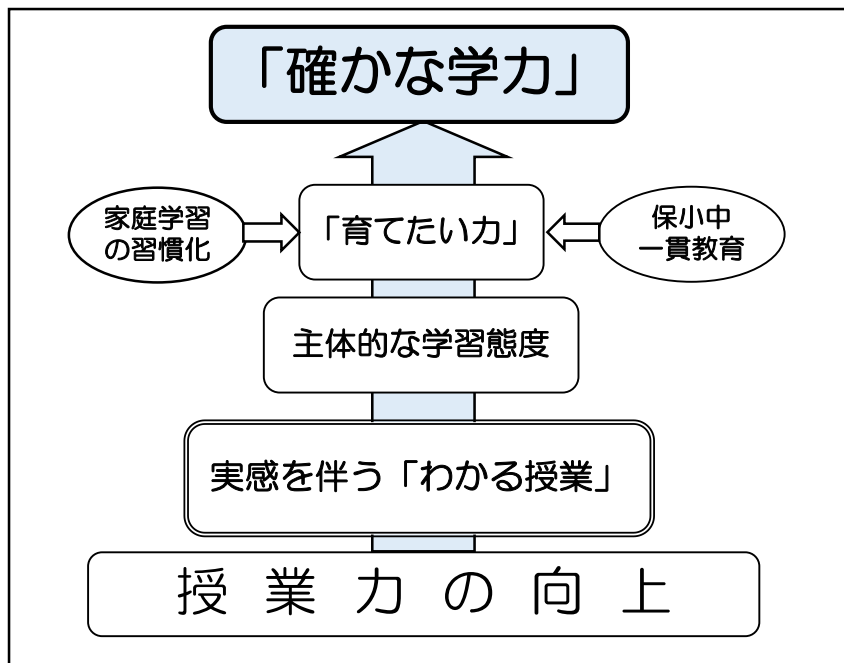
研究目標

生徒が、できる喜びや創る喜びを実感できる「わかる授業」の追究を通して主体的な学びへと発展させていくことで、「確かな学力」を身に付けた生徒の育成のための手立てを、実践を通して明らかにする。

研究仮説

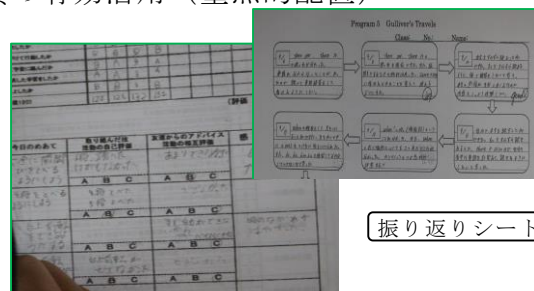
生徒のできる喜びや創る喜びを実感できる「わかる授業」を目指して、授業を改善・工夫していけば、学力や学習意欲が向上し、主体的な学習態度や家庭学習の習慣化につながり、「確かな学力」を身に付けた生徒が育成できるであろう。

「確かな学力」を身に付けた生徒を育成するための全体構想図



研究の主な実践

- (1) 「全国学力・学習状況調査」の分析ツールを活用し、国語科・数学科における特徴や生徒質問紙とのクロス集計による特徴の分析
- (2) 数学科・英語科における加配教員の活用によるT.Tや少人数指導の実施
- (3) 学習指導支援員、特別支援教育介助員の有効活用（重点的配置）
- (4) 授業研究・相互授業参観
- (5) 生徒による授業評価
- (6) 学び合い活動
- (7) 毎時間の授業の振り返り（全教科）
- (8) 家庭学習の習慣化と内容の充実
- (9) 保小中一貫教育の取組



振り返りシート